

関西地区 JAPAN CUP への代表権争い

箕面自由学園高等学校が総合優勝

地区予選第2戦となる第33回関西チアリーディング選手権大会が6月16日(日)、Asueアリーナ大阪にて開催された。滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良2府3県より81チームが参加し、自由演技・総合優勝は箕面自由学園高(大阪)が、規定演技・総合第一位は梅花女子大(大阪)が輝いた。

自由演技では、箕面自由学園高がチアリーディングの基本である笑顔や大きな声で観客と掛け合いをしてその心を掴み、難易度・完成度ともに素晴らしい演技を披露、得点も269.5点と伸ばした。規定演技では、梅花女子大が、正確で力強いアームモーションやキレと余裕のあるジャンプやスタントを高い同調性・同時性でまとめあげ、その基礎力の高さをみせた。



観客とのかけあいで会場を盛り上げる箕面自由学園高



美しい規定演技を見せた梅花女子大

今大会から小学校高学年・中学校・高等学校部門にユース部門(競技ルールにより制限がかかった部門)が増設され、大会の厚みが増した。自由演技競技 Division1(各チームの1チーム目)の中学校・高等学校・大学・社会人の部の成績は以下のようになった。

エントリーが分散したこともあり、狭き門となった中学校の部では8チーム中、準決勝進出は箕面自由学園中、フライデーターナメント出場権獲得は梅花中、堺チアリーディングクラブの2チームとなった。3チームとも日本選手権決勝の常連チームなだけに、今後のレベルアップが楽しみなチームだ。ユースの部では、箕面チアリーディングクラブと箕面自由学園中が予選を突破した。

高等学校の部では、準優勝となった梅花高が3回ツイスト(横回転)のピラミッド3本など、難易度の高い演技で会場を湧かせ、大阪産業大学附属高は落下が1カ所あったものの全体の完成度が高く、第3位で準決勝進出を決めた。同志社国際高、啓明学院高、大阪学院大学高もほぼミスのない演技でそれに続き、会場の声援に応えた。第7位の東海大学附属大阪仰星高は、初のフライデーターナメント出場権獲得となった。

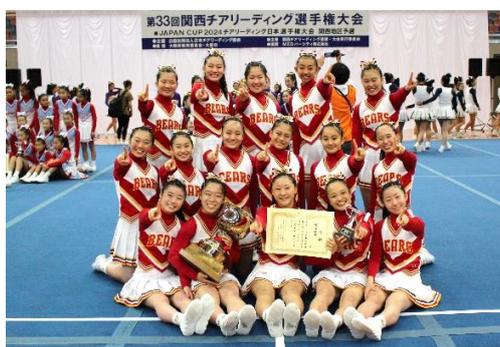
大学の部では規定演技でも他を圧倒した梅花女子大が優勝、アームモーションやダンスの力強さに定評のある関西大が準優勝で準決勝進出、男女混成チームの立命館大はバスケットトスのキャッチング違反の減点が響いて第3位となり、関西外国語大・近畿大とともにフライデーターナメント出場となった。

また、社会人の部では MTG チアリーダーディングクラブが創部 10 年目で初の優勝となった。

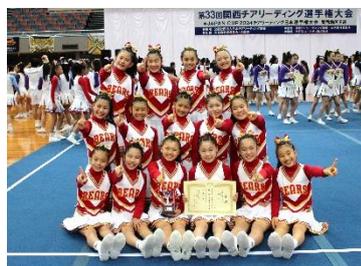
自由演技競技 Division 2 では、箕面自由学園高が選手層の厚さを見せ 227.0 点で第 1 位となり、梅花女子大が難易度の高い演技で猛追したが、揺れやミスが響き 2 点差で第 2 位に、第 3 位の梅花高と演技をまとめた第 4 位の立命館大が予選を突破した。Division2 高等学校ユースの部・優勝の箕面自由学園高はクリーンな演技で、高校からチアリーダーディングを始める選手でも十分にその可能性を伸ばしていけることを感じさせる演技であった。

4 人ないし 5 人の少人数でスタント技術の正確性や連続性、完成度を競うスモールグループ演技では、梅花高から 2 チーム、梅花女子大、箕面自由学園高の計 4 チームが予選突破となった。

昨年より 1 か月早い開催となった関西選手権であったが、Division1・Division2 とともに高校チームのミスの少ない演技が光った。他部門も同じく健闘し、観客の歓声や拍手がより大きな大会となった。



Division1 総合優勝・高等学校の部 優勝 ベストマナー賞 箕面自由学園高等学校



Division1 中学校の部 優勝
箕面自由学園中学校



Division1 中学校ユースの部 優勝
新面チアリーダーディングクラブ SHINIES



Division1 大学の部 優勝
梅花女子大学



Division1 社会人の部 優勝
MTG チアリーダーディングクラブ



小学校低学年の部 優勝
堺チアリーダーディングクラブ



小学校高学年の部 優勝
堺チアリーダーディングクラブ

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.